

みとよ社協だより

しちふく

～七つの福の結晶～

No. **41**

2016年
7月



(山本地区まるみプラン実行委員会)

お花見ウォーキング (4P掲載)

主な内容

- 27年度事業報告・決算 2P
- 28年度事業計画・予算 3P
- 七福通信 4P～5P
- キラリ人☆見つけた! (ボランティア紹介) 6P



青空ふれあい事業(合歓の会) ※助成案内はP6



この広報紙は共同募金配分金により発行しています。

平成27年度 三豊市社会福祉協議会 事業報告及び決算

本会は、事業計画に基づき地域の団体・組織と連携を図り、地域の皆様と協働して社会福祉事業を実施しました。平成26年度に策定した第2期地域福祉活動計画（まるみプラン）は第1期から通算6年目を迎え、さらに充実した活動の推進を行いました。また、国・県推進の「地域支え合い体制事業づくり」を地区社協活動の中で地域の特性を活かし活動できるよう協力支援を図りました。なお、貴重な財源として皆様からお寄せいただいた会費9,024,500円（18,049戸）、寄附金4,911,527円（74件）については、市内全域及び各地区の福祉活動の推進に有効に役立てられています。あらためて心より厚くお礼申し上げます。

1 三豊市社会福祉協議会の充実強化

- 法人運営の組織体制の強化
 - ・理事・評議員・監事会の開催
 - ・役職員研修会の開催
- 会員加入の促進
- 寄付金活用（地区社協へ助成等）
- 共同募金助成等による事業実施
- 広報紙発行、ホームページ内容充実
- 施設（高瀬）・福祉バスの管理

2 地域福祉活動の推進・支援

- まるみプランの推進
- 住民参画による小地域ネットワーク活動の推進
 - ・地区社協活動の推進・支援
 - ・ふれあいいきいきサロン活動推進・支援（研修会開催、助成金交付等）

3 相談・生活支援活動の推進

- 相談事業の実施と相談体制の確立
 - ・くらしの相談・法律相談等
- 安心安全事業の実施
 - ・緊急医療情報キット普及推進
 - ・こんにちはコールの推進
- 日常生活自立支援事業
- 法人成年後見等事業
- 生活福祉資金貸付相談

4 福祉教育・ボランティア活動の推進

- 福祉教育の推進
 - ・福祉普及推進校指定・支援
 - ・福祉体験学習への支援
 - ・夏休みボランティア体験実施
- ボランティア活動の推進
 - ・声かけ見守り活動支援等

5 在宅福祉サービスの推進及び充実

- 介護保険事業・障害福祉サービス事業の推進
- 在宅福祉サービスの充実
 - ・高齢者デイサービス事業、生きがい活動支援通所事業等
 - ・福祉機器・福祉車輛の貸出

6 ファミリーサポートセンター事業の強化

- 会員の拡大及び広報活動の充実
 - ・養成講座開催、会報紙発行
- 会員の資質向上
 - ・講習会、研修会、交流会の開催
- 子育てホームヘルプ事業

7 その他の事業

- 障害者（児）との交流事業
- 障害児の長期休暇中預かり事業
- 子育て支援団体の育成
- 認知症サポーター養成講座実施
- 生活支援コーディネーター設置
- おもいやりネットワーク事業の取組

8 関係機関との連携強化

- 関係団体・機関・行政等との連携強化

平成27年度 資金収支決算

(単位：円)

収入	464,114,849
会費収入	9,024,500
寄附金収入	4,911,527
経常経費補助金収入	145,405,453
受託金収入	18,946,403
事業収入	2,926,565
介護保険事業収入	137,373,135
障害福祉サービス等事業収入	10,239,990
香川おもいやりネットワーク事業収入	70,850
受取利息配当金収入	177,652
その他の収入	440,370
積立資産取崩収入	7,487,729
その他の活動による収入	604,460
前期末支払資金残高	126,506,215

支出	464,114,849
法人運営事業	121,421,607
地域福祉事業	13,787,103
共同募金配分事業	12,067,476
生活福祉資金貸付事業	4,095,874
福祉サービス利用援助事業	10,215,980
法人成年後見等事業	3,805,967
生計困難者に対する相談支援事業	170,850
ファミリー・サポート・センター事業	9,671,587
居宅介護支援事業	36,533,951
訪問介護事業	53,442,707
訪問入浴介護事業	7,484,299
障害福祉サービス事業（居宅介護）	6,457,156
障害福祉サービス事業（行動援護）	560,640
移動支援事業	1,827,940
生活管理指導員派遣事業	726,923
高齢者デイサービスセンター事業	47,873,391
生きがい活動支援通所事業	2,424,401
高齢者生活福祉センター事業	2,694,813
当期末支払資金残高	128,852,184

事業計画書・予算書・事業報告書・決算書（財務諸表）は、ホームページに掲載しています。



平成28年度 三豊市社会福祉協議会 事業計画及び予算

本会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を推進するため、事業を展開していきます。

1 三豊市社協の経営戦略計画としての『三豊市社会福祉協議会発展・強化計画』の策定

既存事業の見直しや新しい分野の事業展開を図るとともに、明確なビジョンを持ち、策定過程を通じて、組織機構の改革や役職員の意識改革を図り、社協の存在意義を地域社会にアピールすることで、住民や行政等に対し、説明責任を果たします。また、策定過程に職員が参画することで人材育成につなげていきます。

2 第2期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の着実な推進と地区計画への支援

第1期計画での取り組みを継承するとともに、更に多くの地域住民が、地域福祉に参加できる仕組みづくりを推進していきます。また、各地区計画においても、活動に関する相談・支援を行い、小地域（地区社協等）活動として計画づくりが行えるようにサポート体制を整えていきます。

3 生活支援の仕組みづくりに向けた総合相談支援体制の構築

地域の関係機関や専門職、行政、住民等様々な横の繋がりを活かし、社協として連携・協働する仕組みづくり、問題解決に向けて、真摯に取り組んでいく総合相談体制づくりを行います。また、問題解決に向け、必要に応じ関係者との困難事例検討会を行います。

4 権利擁護推進体制の充実

認知症高齢者や障害者等が、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを目指し、判断能力が不十分な人の権利を守るための事業の啓発や相談体制を充実させます。また、組織体制を整備するとともに、地域住民の理解と参加を呼びかけ、更なる事業の充実を図ります。

5 ボランティア活動の支援体制の構築

誰もが気軽に参加できるような活動メニューを豊富にしていくこと（きっかけづくり）と同時に、活動する人が意欲に応じて自ら学習し、自らの体験を深めていけるようなプログラムを開発します。また、初めての人向けの体験学習プログラムや日常的・継続的なサービス活動等、一人ひとりに応じた活動の機会を支援します。

6 社協全職員のコミュニティソーシャルワーカー育成を目指した職員研修の充実

コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修を職員の必須研修に位置付け、必要なスキルと自覚を養い、「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して暮らせる福祉のまちづくり、人づくり、ネットワークづくり」とともに「ニーズ対応型社協」を目指します。

平成28年度 資金収支予算

(単位：円)

収入	467,360,000
会費収入	8,997,000
寄附金収入	4,400,000
経常経費補助金収入	130,219,000
受託金収入	20,136,000
事業収入	1,898,000
介護保険事業収入	155,103,000
障害福祉サービス等事業収入	10,630,000
香川おもいやりネットワーク事業収入	412,000
受取利息配当金収入	78,000
その他の収入	405,000
積立資産取崩収入	2,170,000
その他の活動による収入	9,522,000
前期末支払資金残高	123,390,000

支出	467,360,000
法人運営事業	124,768,000
地域福祉事業	16,216,000
共同募金配分事業	13,186,000
生活福祉資金貸付事業	3,333,000
福祉サービス利用援助事業	10,958,000
法人成年後見等事業	4,301,000
生計困難者に対する相談支援事業	517,000
ファミリー・サポート・センター事業	10,383,000
居宅介護支援事業	44,859,000
訪問介護事業	52,505,000
訪問入浴介護事業	8,100,000
障害福祉サービス事業（居宅介護）	8,496,000
障害福祉サービス事業（重度訪問介護）	22,000
障害福祉サービス事業（行動援護）	552,000
移動支援事業	1,716,000
生活管理指導員派遣事業	815,000
高齢者デイサービスセンター事業	50,970,000
生活支援通所事業	3,818,000
高齢者生活福祉センター事業	2,802,000
当期末支払資金残高	109,043,000



通信

合言葉は「ひととき」

5月19日 高瀬

高瀬町ボランティア協議会総会が行われ、議事に引き続き三豊警察署生活安全課の鈴木氏を迎え「特殊詐欺について」講演会を行いました。
27年度の香川県内の特殊詐欺被害額は2億4,000万円だそうで、会場からはびっくりした声が上がっていました。詐欺の手口もさまざまなので事例を交えて話をしてくださり、勉強になりました。被害防止の合言葉「うまい話を信用しない！ そうだんする！ つられて返事をしない！ きっぱりはつきり断る！」で各自、自分の財産を守ってほしいです。



ひと針、ひと針に思いを込めて

5月13日 財田

この春に始まったばかりの「こすもす広場」毎週金曜日、財田町の健やかプラザコスモスでは、多くの皆さんが集まり、手芸や写経や体操、おしゃべり等、それぞれ楽しい時間を過ごされています。
その広場の皆さんが、同じくこの春開校したばかりの財田小学校に、力作となる七色ステッチの雑巾と、フルーツやお花の形をしたカラフルな工口たわしを贈呈しました。「ひと針、ひと針に私たちの思いも込めて作ったので、新しい校舎をピカピカにしてくださいね」と手渡しました。

地域の方々からの心のもったカラフルな贈り物に児童たちは、目を輝かせ、また、広場の皆さんも、児童から次回の作品作りのパワをいただき、世代を超えた和やかな空間が広がりました。このように「こすもす広場」は、地域活動にも貢献しています。



伝統工芸を学ぶ

5月18日 三野

みの元気塾（三野町保健センター内、太陽の家）で、「かがり手まり教室」が開催されました。毎月1〜2人の新しい参加者を迎え、計10〜15人で行っています。この日は13人の参加。ベテランの方から初心者まで、わきあいあいとした雰囲気の中、「ここはこの色がええやろか」「ここはこのやり方がええで」と互いに相談しながら、美しい伝統工芸にチャレンジしていました。その日のうちに仕上げた事はなかなか難しいよう、宿題として持ち帰り、家事の合間等、時間を見つけては没頭しているそうです。
先生が作った手まりをみて、みなさん大絶賛！「いつかこんなのを作りたいなあ」と口々に話され、得意、不得意関係なく、同好会のように楽しく行われていました。
興味のある方は ☎72・1872（みの元気塾）まで



『三豊黄門さま』再び

5月22日

三豊市文化会館マリノウエーブにて「第2回誰もが安心して暮らし続けられるわが町（三豊市）づくりフェア」が開催されました。その中の一つとして、今年も本会の職員他が『三豊黄門さま』を再演しました。
認知症である黄門さまが、助さんやお銀さんの助けによって、楽しく旅を続けているお話です。もの忘れ、徘徊、もの盗られ妄想と、認知症によくある症状を交えて寸劇を披露しました。
後日、寸劇を観た方からは「とても上手で感心した！」という感想をいただきました。



ほかほか陽気でウォーキング

4月2日 山本

桜の花がきれいに咲き誇るなか、山本地区まるみプラン実行委員会主催のお花見ウォーキングが開催されました。天候も良く、桜を見ながらのウォーキングはとても好評で、あちらこちらで「きれいなあ」との声が上がっていました。この活動を通じて、たくさんの方の交流を持つこともできました。また来年もさわやかな汗を流しませんか？



今年もハッスル！長寿会グラウンド・ゴルフ大会

5月26日 山本

今年も恒例となった長寿会グラウンド・ゴルフ大会が、山本町河川敷グラウンドにてスタートしました。



七福

炊き出し訓練 3月6日 仁尾

仁尾町福祉会館前において、町内クリーン作戦に合わせて、炊き出し訓練が行われました。仁尾地区地域福祉活動計画(まるみプラン)実行委員会が毎年実施していましたが、27年度より仁尾地区社協が引き継いでまるみプランを実行しています。

中学生や老人クラブ会員を中心とする参加者たちが町内を回りゴミを集めた後、炊き出し訓練による豚汁が振る舞われ、心も体もぼかぼかになりました。



皆さんプレーが始まると、軽快にボールを打ち、歓声も上がります。グループでおしゃべりしながらまわるのも、楽しみの一つだそうです。天気も良く、大盛況の中大会を終えることができました。来年もまたハッスルプレーを！



【優勝】宮武 信治郎 様
おめでとうございます！

みみちゃん総会

三豊市内で託児を中心に活動する、子育てボランティアのみみちゃんの総会が開催されました。基調講演では、山本小学校校長 山下 昌茂先生より「食と生活改善から、免疫力・学力を高める」をテーマに、仁尾小学校勤務時の様々な取り組みと成果について講演していただき、子どもにとっての食の大切さを実感する機会となりました。

4月19日 豊中



大自然満喫！のびのびブティック

5月25日 豊中

豊中町老人クラブ5地区150人が参加。今年の目玉は室戸ジオパーク散策です。弘法大師空海の御厨人窟、行水の池がある大地の誕生・火山ゾーンと、巨石に根を張り付けるように成長するアコウの深海ゾーンを1時間歩きまわりました。地殻変動により隆起した巨岩や波食地形を目の前に大自然の凄味を体感した。貴重な1日でした。



たくまの市民力

4月30日 詫間

詫間町ボランティア連絡協議会の会員研修会が「マリノウエーブ・イベントホールにて開催されました。今年度の研修会では各ボランティア団体の活動を紹介するもので、各団体の特技やノウハウを生かして地域に貢献している様子が伺えました。講演会では講師の三豊市長より、「市民力について」と題した講演の中で、「市民力とはプレーヤー(やる人)で、正にここに集まる皆さんのこと」と期待と励ましの言葉が有りました。閉会には会長から「楽しんでやる意識を持つと、なお楽しくなる。ボランティアは心を豊かにしてくれる」など、ボランティアの醍醐味と言える言葉に参加者の共感が得られたようです。



田尾会長

竹細工講習会第3弾!!

5月13日 詫間

詫間町老人クラブ連合会は、栗島新生クラブ会長の山北友好氏に講師を依頼し、竹細工講習会を開催しました。前作のクワガタ、セミに続き、今回はオスとメスの「夫婦ガニ」に挑戦です。素材の竹を削ったり曲げたりしながら、足、爪、目や口の部分を作っていきます。2匹とあってパーツも多く、時間の心配もありましたが、竹の模様や節が活かされた味わいのあるカニや、細くて長い足をもつカニなど個性あふれる作品が完成しました。山北氏の講習会は大変人気があり、竹細工の魅力に引き込まれた会員からは「毎回楽しみだ」「もっと回数を増やしてほしい」と熱望されています。





【今回のボランティア】



朗読ボランティア つくし 代表
藤川 節子さん (詫間町)

「朗読ボランティアつくし」は平成18年8月に発足し、今年でちょうど10年になります。会員11名は、月1回の定例会(第2火曜日)で、朗読用の本を選び、紙芝居の題材を決めます。また、会員同士で更なる質の向上のため、練習しお互いに批評したり感想を述べ合ったり、楽しくわきあいあいと学習しています。

毎月第3木曜日は「せとの花」と「オリーブ苑」、第3金曜日は「たくま荘」へ各3名ずつが輪番制で、約30〜40分かけてそれぞれ読み聞かせを行います。

また、紙芝居や絵本の内容に関連した唱歌などをみんなで一緒に歌ったり、ちょっとした体操を織り交ぜて、リラックスした状態で聴いてもらえるように心がけています。



活動当初は、NHKの朗読ライブラリーで学習したり、発音・発声ではアクセント(強く発音)やイントネーション(抑揚・音調)に注意して文章を声に出して読み、基礎練習をしました。次第に回数を重ね



るうち、詫間町の方言を使うことや、相手に合わせて話したほうが良いと感じるようになり、その時々に合わせて、きめ細かい対応を目指した活動に取り組みようになりました。

今回の題材は、韓国の昔話「りゅうぐうのくろねこ」(紙芝居)、実話「海辺の町を走るバス」(絵本)が披露されました。途中で季節を感じる「こののぼり」の歌が2種類と「茶摘み」を皆で手拍子とともに歌いました。最後に「ぼくらたすけあい隊」というお話のなかで「ありがたいは気持ちがよくなる魔法のことば。うれしい言葉。お互いがたすけあいをしたから、たすけあい隊だ!」：気持ちを込めて発せられた言葉が耳にのこりました。

取材中、活きいきと熱心に取り組む様子をみて頼もしくなりました。これからもまぶしい笑顔と美声を届けてください。ますますのご活躍を願っています。

青空ふれあい事業
助成金のお知らせ

【概要】

身体に障害を持つ等の理由で外出するのが困難な方、家庭に閉じこもりがちになっている方に外出機会を提供します。生活に張りりと、地域のボランティアとの交流活動を通じて、住みなれた地域で共に安心して生活する事を目的とした事業で、実施する団体・グループに助成金を交付します。

助成総額20万円に達した場合受付終了。

問い合わせ 本所 ☎ 63-1014



平成27年度助成(山本地区まるみプラン実行委員会)

ちょっとだけ
頼ってみませんか?

H27年度
150件の依頼がありました!



～子育てホームヘルプ事業～
ヘルパーさんが心強い助っ人としてお伺いします

期間 産前2ヵ月～産後6ヵ月
利用料金 最初1時間 300円
追加30分ごと 150円
利用時間 1日に3時間以内
午前8時～午後6時

●子育て応援サービス券
使えます



◎家事手伝い



◎お子さんのお世話



◎遊び広場付き添い

問い合わせ ☎62-1192

みとよファミリー・サポート・センター



善意の寄付

三豊市社会福祉協議会では、皆様からの善意のご寄付を、地域福祉・在宅福祉の推進などに有効活用させていただいております。本誌をもって改めて厚くお礼申し上げます。

寄付にご協力おねがいします

社協の財源の一つが、市民の皆様から寄せられる会費や寄付金です。こうした財源は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。

金額の多少を問わず、年間を通して本所・各支所で受け付けています。どうぞお気持ちをお寄せください。



平成28年3月～5月受付分 (敬称略・順不同)

※社会福祉事業へのご寄付は、寄付金控除の対象となります。

平成28年12月26日までは、所得控除又は税額控除のどちらかを選択することができますが、それ以降は所得控除のみとなります。

高瀬町 石井 昭昌

山本町 高橋 英勝
伊藤 京子
平川 博
辻 安司
齋藤 恵子

三野町 綾 弘文
滝口 龍平
丸岡 信博
氏家 秀子
綾 洋介

豊中町 石田 ミチ子
(故)滝本 則夫
(故)十川 修

詫間町 真鍋 和行

財田町 大前 雅昭

団体

高瀬町 有限会社 藤川
高瀬町 高瀬町カラオケ同好会
詫間町 詫間中学校生徒会
丸亀市 NPO法人かがわ子育て親育ちの会



5月28日、詫間中学校運動会にて、生徒会から車椅子が寄贈されました。

- ★いつ 毎月2回 (10日・20日)
- ★どこで 古江第一会館
- ★だれが 古江自治会会員
- ★会費 会費 100円
(食事付き200円)



お気軽にお立ち寄りください。



サロンへようこそ

(仁尾町)いきいきサロン古江

毎月、10日・20日の2回サロンで交流をしています。10日は食事付きで午前中に頭の体操やおしゃべりを、20日は昼からおやつ付きで指体操やラジオ体操などを行っています。また月の行事、こどもの日、七夕飾り、うちわ作り等、手芸も頑張っています。いつもおしゃべりがはずみ、笑ったり、語り合いの場として、参加者も協力者も時間を忘れて楽しく活動しています。

手芸の場を設けてから、男性の足が遠ざかってしまったので、男性にも楽しみに来ていただけるようなサロンになるよう、努力していきたいと思えます。お一人でも、またご夫婦やお友達に声をかける等、



なかよしファミリー 写真コンテスト

作品募集

テーマ 「なかよしファミリー」

家族のふれ合う楽しい写真

- 賞品
- 最優秀賞 1名
●三豊市商品券1万円分
 - 優秀賞 2名
●三豊市商品券5千円分
 - 入選 17名
●ポケットアルバム

締め切り

9月7日(水)

たくさんの
ご応募、お待ち
しています!



昨年の最優秀賞作品

応募・問い合わせ

みとよファミリー・サポート・センター
(三豊市役所豊中庁舎内 2F) ☎62-1192

登録ヘルパー募集

介護の仕事を一緒にしませんか。

資格:介護福祉士・初任者研修修了者(ヘルパー2級)

問い合わせ:在宅福祉サービス課 ☎72-0122 鴨田・樋笠まで



相談案内 ~相談無料・秘密厳守~

弁護士による **法律相談** **要予約**

毎月第1・第2・第3火曜日 13:00~15:30

相談場所	相談月日		
高瀬支所	8/ 2	9/ 6	10/ 4
山本支所	-	-	10/11
三野支所	-	-	10/18
豊中支所	8/ 9	-	-
詫間支所	8/16	-	-
仁尾支所	-	9/13	-
財田支所	-	9/20	-
相談受付開始日 (正午より受付開始)	7/20	8/22	9/20

◆予約受付 本所 ☎63-1014

法律相談は、問題解決する場ではなく、**問題解決の方法**を弁護士に提供してもらうものです。

◆相談時間は1名につき30分以内 ◆新規利用者優先

- ぐらしの相談 [全7支所/毎月第1・3水曜日] 13:00~15:00
- 介護相談 (高瀬支所で随時実施)
- ボランティア相談 (本所・各支所で随時実施)

みとよファミリーサポートセンター移転 と豊中支所FAX番号変更のお知らせ

みとよファミリーサポートセンターが社協豊中支所に移転し、豊中支所のFAX番号が62-1193(ファミサボ共通)となりました。

福祉クイズ

まるみちゃん



問題

詐欺被害防止の合言葉の○に入ることは何でしょうか?
「うまい話を○○○○○! そうだんする!」
つられて返事をしない! きっぱりはつきり断る!」

答えの書き方

- ① 答えうまい話を○○○○○!
- ② 氏名(年齢)
- ③ 住所
- ④ 電話番号
- ⑤ しちふくを読んだ感想など

あて先

三豊市山本町辻 333番地1
三豊市社会福祉協議会
「まるみちゃん」
福祉クイズ係

ヒント

4Pをごらんください。

しめきり

平成28年7月25日(月)(当日消印有効)

正解者の中から抽選で3名の方に図書カードと
オリジナルクリアファイルを進呈いたします。

尚、当選者の発表はクイズ正解者の中から厳正な抽選の上
当選した方に賞品の発送をもってかえさせていただきます。

★ご応募いただきました方の個人情報(しちふく編集
のみに使用し、他の目的に使用すること、第三者へ提
供することはありません。

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

〒768-0101 三豊市山本町辻333番地1 三豊市山本庁舎内 TEL 0875-63-1014 FAX 0875-63-3085 URL http://www.mitoyoshakyo.or.jp

UD FONT

目にやさしく読みやすいユニバーサルデザインUD字体を使用しています。ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、障害の有無に関係なくあらゆる人が快適に利用できるよう配慮されたデザインのことです。

R70

VEGETABLE INK

この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

平成28年7月1日発行